

エイズ検査 [HIV (Human Immunodeficiency Virus)感染症]について

エイズとは HIV ウイルスが、ヒトのリンパ球（白血球の一種）に感染することにより発症する後天性免疫不全症候群の名称です。感染者が発症すると免疫力が低下し、健康な人では感染しないような弱い細菌、ウイルスなどにも体が侵され、かぜ様症状、下痢、肺炎など多彩な症状を呈し、特效薬はなく、多くは死に至ります。現在日本での感染者数は、厚生省への法定報告ではおよそ 4,000 人ですが、実際には更に多くの感染者がいるといわれています。感染経路は 1）血液（血液製剤、輸血など含む）、精液を介する経路 2）母子感染（産道感染、経胎盤感染、母乳感染）経路が考えられています。予防なしで母子感染した場合は、児のほとんどが、1、2 歳で発症し 75 %以上の死亡率といわれています。

妊娠初期に検査を受け陰性であることを知っておくことは、無用な心配をせずに済みます。また万一陽性と判明した場合は、適切な治療により、母子感染のリスクを減らすことや、お母さんの発症を遅らせたりすることもある程度可能です。

上記の理由より当院では妊娠初期に全妊婦さんに対し、同意を得た上で血液検査を行っています。検査結果は希望により本人のみに告知され、プライバシーは確保されます。

初期検査では実際は感染していないにもかかわらず、陽性となることがあります。初期検査で陽性と出た場合には診断確定のため別の血液検査（ウエスタンブロット法）を行います。